

## 意見交換(テーマ)

「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」

# 今後の検討について

# 発表のあった主な意見

取組を周知するための「**手段**」についてのアイデアが多く出てきた。

- ◆ 推進会議の取組等を参加者各々が所属する団体に持ち帰って周知する必要がある。
- ◆ 子どもの保護者世代は、子どもが持ち帰ってくるチラシを活用して周知することが有効。
- ◆ テレメディア、広報などを情報媒体を活用することも良いのでは。
- ◆ 地域の既存のイベントで「長房の未来をつくる会」の活動を周知するブースを設けてはどうか。
- ◆ 各町会・自治会で回覧板を回すなど、紙ベースで周知することも重要

➡ 重要なのは「目的(推進会議で議論する内容)」

そもそも…

- ◆ 地域づくり推進事業を広く長房地域の取組にしていくためには、推進会議に参加する人にとってメリットのあるものでなければならない。
- ◆ 推進会議が参加する人にとって意味のあるものでないと、「広がらない」「広がっても継続しない」。

# 今回の検討①

## 学識経験者からの意見(基本方針改定懇談会)

「推進会議の話合いの『テーマ』をあらかじめ決め、話したい内容や興味がある内容かどうかで参加の是非を決める方法で開催してはどうか。」

- 参加する人のモチベーションによって、有意義な話合いになるか決まる。
- ゆるやかなつながり、負担感の軽減、やらされ感の軽減が持続性に関わる。

# 今回の検討②

推進会議に参加する人にとって、有意義な話し合いをしていくために

## 【現状の確認】

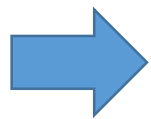
- 「長房の未来をつくる会」が立ち上がったことで、推進計画で定めたアクションプランや推進会議の議論に基づく取組を実行することができるようになった。
- 「推進会議」の役割は、参加団体間の連携・調整・補完・情報共有、行政との連絡・調整・相談・検討に整理している。

# 今回の検討③

【今後の進め方】

推進会議で話し合いたい「テーマ」を参加者の皆さんで決めて進めていく。

- これまでのような、市が決めた「テーマ」に基づいた話し合いは行わない。
- 直近で話し合いたい「テーマ」が見つからない場合は、「推進会議part」では、グループワーク等は行わず、地域の情報共有・活動の報告のみを行う。
- 2時間半の時間を設けて行っていた会議が短くなることもある



参加する人のモチベーション向上、有意義な話し合い、ゆるやかなつながり、負担感の軽減、やらされ感の軽減につなげる。

# 今回の検討④

【次回に向けて検討してほしいこと】

- 今後「どんなテーマの話がしたいか」、「地域で一緒に考えたい、共有したいことはあるか」、「他にやってみたい取組があるか」
- そのためには、「どんな人に参加してほしいか」、「声掛けはどのように行っていくか」

➡ 次回の推進会議の際に話し合いを行います。